

がんぼう
麒麟の願望

加羅古呂庵 一泉

麒麟の願望

齊藤 博氏のご依頼により作曲した尺八と箏の二重奏曲です。

「首を長くしてなんでも待っている自分。」「麒麟のように少しずつ自分の届かないものに届くように、努力をしたいということ。でも、自分の首はなかなか伸びない。だから、麒麟のようにになりたい、願望です。」とのことでした。

アフリカで暮らす麒麟は、オスで5m前後、メスで4mちょっとの高さがあり、薄明薄暮に主にアカシア属・シクンシ科などの木の葉を食べ、昼は反芻して過ごします。葉から摂る水分のみで、水を飲まなくても生きていくことができるそうです。およそ120平方キロメートルくらいが行動範囲で、時速50~60kmで走ることができるということです。

私たちが目にすることができるのは、動物園の麒麟。思い切り走れる場所もなく、ちょっとかわいそうな感じもします。動物園の麒麟が、遠いアフリカの大地に想いを馳せている設定で、「薄明」→「憩い」→「草原の夢」→「薄暮」という章立てにしました。「憩い」では、首を長くして「自分の届かないものに届くように」大甲のレ(A6)を使ってみました。

実際の麒麟は、高い木の葉を食べては、のんびり歩いていました。優しそうな顔をしていました。

The image shows a musical score for two instruments: Shichu (尺八) and Koto (箏). The Shichu part is written on a single staff with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). It starts with a '1尺6寸管' (1 shaku 6 sun) and a '口' (mouth) symbol. The Koto part is written on a single staff with a treble clef and a key signature of one sharp. It starts with a '二' (2) symbol. The score includes notes for both instruments, with the Koto part having a '三・八 調弦替えあり' (3・8 tuning change) instruction. The lyrics '大甲レ' and '斗為巾' are written below the Koto staff.

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけこうです。

(「薄明」「薄暮」の雰囲気を出すため左手を多く使っていますが、合わせ爪で演奏してもかまいません)

麒麟の願望

加羅古呂庵 一泉 作曲

♩ = 120

薄明

in E

尺八

箏

mp

rit.

p

mp

rit.

10 **A** ♩ = 120

尺八

箏

mf

mf

14 **B**

尺八

箏

18 **C**

尺八

箏

21 **D**

尺八

箏

mf

25

尺八

箏

28 **E**

尺八

箏

32

尺八

箏

36 **F**

尺八

箏

mf

39 **G**

尺八

箏

43 **H**

尺八

箏

mf

46

尺八

箏

I

50

尺八

箏

J

$\text{♩} = 80$
聴い

poco a poco rit.

mp

後押し

57

尺八

箏

K

poco a poco rit.

mf

65

尺八

箏

L

mf

70

尺八

箏

M

mf

77

尺八

箏

81

尺八

箏

N

mp

88

尺八

箏

O

mp

P

93

尺八

箏

$\text{♩} = 66$
草原の夢

rit.

mf

三・八 1音上げ A→B

101

尺八

箏

$\text{♩} = 132$

mf

106

尺八

箏

112

尺八

箏

R

117

尺八

箏

121

尺八

箏

[S]

125

尺八

箏

129

尺八

箏

133

尺八

箏

[T]

mf

138

尺八

箏

[U]

poco a poco rit.

143

尺八

箏

V

$\text{♩} = 120$
薄暮

三・八 1音下げ B→A

mf

148

尺八

箏

mf

151

尺八

箏

[W]

155

尺八

箏

[X]

mf

159

尺八

箏

[Y]

rit.

p